

令和 年 月 日

玉野市長 柴田 義朗 殿

所在地
申請者 名 称
代表者名 ㊦

玉野市暴力団排除条例に係る誓約書

私は、玉野市暴力団排除条例（平成24年玉野市条例第3号。以下「条例」という。）に基づき、条例の趣旨を理解した上で、玉野市が行う補助事業により暴力団を利することとならないように、補助金の申請にあたり、下記の事項について誓約します。

なお、これらの事項と相違することが判明したときは、玉野市が行う交付決定の取消し、補助金返還命令等の一切の措置について、異議なく応じることを誓約します。

また、誓約事項の確認等のために、玉野市が岡山県警察本部等に対し照会を行うことについても同意します。

記

- 次に掲げる者が条例第2条に規定する暴力団員等ではないこと。また、暴力団員等を新たに選任しないこと。
 - 法人である場合 代表者及び役員
 - 個人事業主である場合 代表者
 - 個人である場合 個人本人
- 1の各号に掲げる者が、暴力団及び暴力団員等と社会的に非難される関係を有していないこと。また、新たに関係を有することがないこと。
- 暴力団員等を雇用していないこと。また、新たに雇用しないこと。
- 暴力団及び暴力団員等が実質的に経営に参加していないこと。また、新たに経営に参加させないこと。
- 条例第4条、第6条に基づき、必要書類の提出を求められたときは、速やかに提出すること。

以上

玉野市暴力団排除条例（抄）

（目的）

第1条 この条例は、暴力団が市民生活及び社会経済活動に介入し、暴力団の威力及びこれを背景とした資金獲得活動によって、市民等に多大な脅威を与えている現状に鑑み、暴力団の排除に関し、基本原則を定め、市及び市民等の責務又は役割を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する基本的な施策を定め、暴力団の排除を総合的かつ計画的に推進することにより、安全で平穏な市民生活を確保し、及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- （1）暴力団 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。
- （2）暴力団員 法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。
- （3）暴力団員等 暴力団員又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。
- （4）市民等 市内に居住し、通勤し、通学し、又は滞在する者及び市内において活動を行う事業者その他の団体をいう。
- （5）関係団体 法第32条の3第1項の規定により公安委員会から暴力追放運動推進センターとして指定を受けた者その他の暴力団の排除に関する活動を行う団体をいう。

（市の責務）

第4条 市は、前条に規定する基本原則（以下「基本原則」という。）にのっとり、暴力団の排除に関する施策を総合的に推進するものとする。

2 市は、市民等に対し、暴力団の排除に関する理解を深めるため、広報及び啓発活動を積極的に行うものとする。

（公共工事等における措置）

第6条 市は、公共工事その他の事務又は事業により暴力団を利することとならないよう、暴力団若しくは暴力団員等又はこれらと社会的に非難されるべき関係を有する者を入札に参加させない等の必要な措置を講ずるものとする。

附 則

この条例は、平成24年4月1日から施行する。